



## 南九州市市制施行 10 周年記念事業

# 児童生徒図画・作文コンクール

市制施行 10 周年を記念して、図画（テーマ「わたしの大好きなまち」「紹介したいまちの風景」など）・作文（テーマ「大好きな南九州市」「南九州市の自慢」「未来の南九州市」など）コンクールを実施しました。多くの作品の出品をいただき、ありがとうございました。審査の結果は、以下のとおりです。（敬称略）



### 【図画の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	画題名
市長賞	大丸小	5年	内村愛里紗	豊年太鼓踊り
市議会議長賞	川辺中	2年	林 花音	朝の風景
教育長賞	高田小	1年	西 陽円	おいしい おやさい いっぱいだ
教育長賞	宮脇小	3年	下野 遥佳	進め未来へ
教育長賞	中福良小	4年	村方 仁美	ねぶた祭り
教育長賞	川辺中	3年	堂園 愛	朝日

### 【作文の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	題名
市長賞	川辺中	1年	有村 春菜	日本一のまち。ふるさと南九州市
市議会議長賞	別府小	6年	原田 瑛人	元気なまちづくりを目指して
教育長賞	中福良小	2年	石間伏賢慎	ぼくは、おまつり男
教育長賞	霜出小	3年	上之 柊人	日本一あまいちらん茶
教育長賞	松ヶ浦小	5年	村内 史玖	守り続けていきたい
教育長賞	川辺中	1年	岩下 梓	未来の南九州市
教育長賞	知覧中	2年	葛迫 ゆい	スピーチコンテストを開催する南九州市
教育長賞	瀬娃中	2年	鍋谷 愛実	私と南九州市民音頭 ～ふるさとを胸に～

### 【高校生作文の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	題名
市長賞	川辺高	1年	浮辺 歩実	未来の南九州市
市議会議長賞	川辺高	3年	池田 幸	私の住む南九州市
教育長賞	川辺高	2年	池田 馨	未来に残し続ける南九州市

# 市制施行10周年記念事業

◆ 図画コンクール ◆

【市長賞】「豊年太鼓踊り」 大丸小学校5年 内村 愛里紗



【議長賞】「朝の風景」 川辺中学校2年 林 花音







【教育長賞】

「おいしい おやさい いっぱいだ」  
高田小学校1年 西 陽円

【教育長賞】

「進め未来へ」  
宮脇小学校3年 下野 遥佳



【教育長賞】

「ねぷた祭り」  
中福良小学校4年 村方 仁美

【教育長賞】

「朝日」  
川辺中学校3年 堂園 愛



## ◆ 作文コンクール ◆

作文の部

「市長賞」

「日本一のまち。」

ふるさと南九州市」

川辺中学校一年 有村 春菜

わたしは、この春、父の転勤でここ南九州市に引っ越してきた。初めて南九州市という都市を聞いたとき、分かりやすく、親しみのある都市名だなと思った。そのわけは、九州の南に位置するこの市にとってはぴったりの名前だし、九州地方という言葉は聞き慣れた言葉であるので、他の県民からもすぐに覚えてもらえる都市名だと感じたからだ。

この南九州市が合併し、今年で十周年を迎える。もともと三町には、それぞれの町ごとに、町の発展を願いながら、全町民が英知を結集し、一人一人が幸福になることを願いつつ紡いできた歴史がある。だから、それぞれの町には特色があり、自然やその

土地の風土を生かし、大きく発展してきた。この三町が合併して十年が経過し、新たな歴史を刻みつつある本市の勢いは旧町時代の三倍、いや相乗効果でそれ以上の力を発揮している。わたしは、本市の特色を生かしながらこれからの市政発展について考えてみたい。

まず、南九州市にある中学生同士の交流会をしようかと思う。同じ南九州市立の中学校ではあるが、距離的に離れているので、他校の中学生同士はほとんど会うことがない。そこで、わたしは、同じ中学生同士もっと部活動や生徒会、スポーツなどを通して交流し、お互いに高め合う機会を増やしてはどうかと思う。そうすることで、中学生同士のきずながさらに深まっていくことになると感じる。

次に、これからはスマートフォン時代であるので、学校のホームページの中に、各学校や地域の紹介、そして生徒が南九州市の情報などの発信をしていくことで、全国的に広く知られる都市になるのではないかと思う。

さらに、わたしたちが、あいさつをしたり、誰に対しても優しく親切にしたりする

ことで、みんなが笑顔で楽しく暮らせる市になっていくためのきっかけ作りをしていきたい。

また、これからは、もっと南九州市の環境を生かした発展をしていくことが大切だと思う。本市は、道路環境が整備され、近隣の市に仕事に通うにしても一時間以内で通勤できる。さらに、なによりも山や川、海などの豊かな自然があり、空気や水もおいしく、気持ちよく暮らせる環境が整っているとと思う。生活するには便利だし、子育てには最高である。このことをもっと生かしていくとさらに人口が増えてよいのではないだろうか。

今、まさに太陽に向かって元氣よく咲き誇る市の花『ひまわり』のようにみんなの笑顔がきらきらと輝いている。これからの十年は、わたしたち中学生が主役の十年となるような気がする。わたしは、市民一人一人がこの南九州市に暮らしてよかった、そして、国中の人が本市で生活してみたいと思ってもらえるようなそんなまちになれるようわたしたちのふるさと、日本一の南九州市にみんなと手と手を取り合いながら作り上げていきたいと思う。



## ◆ 作文コンクール ◆

高校生作文の部

【市長賞】

### 「未来の南九州市」

川辺高校一年 浮辺 歩実

私の家は兼業お茶農家です。南九州市のお茶は全国でも有名で、生産量日本一です。近年ではさまざまな賞を受賞しており、高い評価を得ています。そんなお茶を作っている私の家族を私はいつも誇りに感じています。私は小学校高学年のときにさえみどりという品種の幼木を植える手伝いをしました。慣れない作業が多く、畑仕事の大変さを知りました。また、終わった後の達成感はとても気持ちのよいものだと思います。その幼木の葉で作られた紅茶が、先日出来ました。私の家の畑のお茶で作られたというだけでとてもおいしく感じました。いつも飲んでいる市販の紅茶よりも苦みが少なくて飲みやすかったです。また、

少しではあるけれど自分が関わっていることがとてもうれしく思いました。

最近、友達と話をしているときに、あまり緑茶は飲まない人が多いことがわかりました。たしかに、私たちの身の回りには手軽に飲めるものが溢れるようにあります。その中から緑茶をもっと普及させたいと思いました。

私はお茶を普及させるためにお茶を使った特産品を考えてみたらよいと思います。手軽にお茶を楽しめるように粉末茶にしたり、お菓子にしたりして、パーキングエリアや道の駅、空港などの人の集まる所で販売すればいいと思います。また、最近ではSNSに写真を載せる人が増えてきています。だから、写真を撮るときにかわいくて目を引くようなスイーツも開発されるとよいと思います。このような商品を観光客の人達が気軽に立ち寄れる、特産品を買うことができる道の駅ができるとよいと思います。知覧、川辺、穎娃の特産品を、より多くの全国の人に知って欲しいと思います。

また、知覧の商店街は、開いている店が少ないので私はもったいないと思います。観光客を乗せたバスがせつかく通るのだから、人が集まるような店があればよいと思います。店を開きたい人に安く貸し出せば、町の活性化につ

ながるのではないのでしょうか。

これからの時代、少子高齢化がさらに進むと言われていきます。その未来を支えていかなければならない私たちが、この町を守らなれないと思っています。南九州市がこれからもっと発展していけるように何かできることを見つけないかと思っています。

